

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

坂井市立兵庫小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

家庭・地域・学校協議会（9名）

【家庭・地域（6名）】

- まちづくり協議会長
- コミュニティーセンター長
- 民生委員（2）
- むらづくり委員長
- PTA役員

【学校（3名）】

- 校長・教頭・教務主任

地域コーディネーター（3名）

- まちづくり協議会長
- コミュニティーセンター長
- むらづくり委員長

(2) 協議会の内容

- 1 開催回数 年3回
- 2 開催日程・協議内容
 - (1) 7月5日（金）
 - ①学校状況およびスクールプランについて
 - ②地域とつくる元気な兵庫っ子
 - ③PTA活動報告
 - (2) 12月6日（金）
 - ①学校状況について
 - ②学校評価について
 - (3) 2月19日（水）
 - ①学校状況について
 - ②学校評価結果および学校関係者評価

(3) 協議会における成果と課題

学校状況の話題については、学校の取組に対し十分に理解していただくことができた。特に現在、社会問題となっている不登校やいじめについても、本校の未然防止策や対応を支援するご意見や地域目線でのアドバイスをいただくことができた。また、交通安全や防災、防犯についても、地域として児童を見守り育てていく旨のご意見をいただくなど、今後も学校と地域が連携して児童の教育を行っていくことを改めて確認することができた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域産業である農業について勤労生産活動を通して学ぶとともに、地域で活躍する方々と共に活動することで、ふるさと「兵庫」の伝統・文化・自然・人に誇りを持ち、地域を愛し、地域に貢献する児童の育成を目指す。

(2) 活動の実際

①農業体験と秋祭りでの収穫祭（4・5・6年生）

児童と村づくり委員の方が時期的に適正な米が何かを話し合い、品種「秋さかり」を選択し稲作体験を行った。田植え前の5月上旬にはお米の学習会が開かれ、5年生児童が地元JAの方や村づくり委員の方から、「秋さかり」の特徴について学んだり、実物の苗を使って田植えの模擬体験をしたりした。その後日、5年生児童が学んだことをもとに4年生児童に伝達講習を行った。5月下旬の田植えの時には、村づくり委員会や地元JAの方々が多数参加し、4・5・6年生児童の田植えの指導に当たっていただいた。7月の中旬には、5年生児童が村づくり委員の方の指導のもと、稲の生育調査を行った。9月下旬の稲刈りの時にも村づくり委員会や地元JAの方々が多数参加し、4・5・6年生児童の指導に当たっていただき、刈り取りからはさ掛けまでを行った。



また、野菜作り体験では、事前に野菜の学習会を行い、児童と村づくり委員の方が話し合っ

て栽培する野菜を決め、野菜づくりを行った。

ひょうご元気秋祭りでは、地域住民の方々と共にカレーをつくり、収穫したものを楽しんだ。

②学習発表会で地域の良さをPR（5年）

学習発表会で、5年生が話し合い「育つん田 de 育つんだ」をテーマに田植え班、生長調査班、結束班、稲刈り班の4つの班に分かれて、育つん田での農業体験をふり返り、そこで学んだことを発表した。パワーポイントを利用しての発表と同時に、田植えや稲刈りの寸劇をしたり、結束の実演をしたりした。



③地域の（老人クラブ）との交流（全学年）

上兵庫地区と下兵庫地区に分かれ、それぞれの地区の老人クラブの方々と共に奉仕活動（地区の清掃活動）をした後、区民会館などでゲームなどをして交流した。



（3）地域コーディネーターの活動概要

学校田・畑の稲作や野菜作りに対して、地域の農家の方の協力を呼びかけ、児童への指導、学校田・畑の管理等を担った。ひょうご元気秋祭りや特別授業が開催できるように、学校と地域とのコーディネートおよび運営を担った。

（4）特に工夫した事項

- ①秋祭りはまちづくり協議会との共催、学校田での稲作や畑での野菜作りは村づくり委員会との共催で実施し、地域住民の方々に参加していただいた。
- ②学校での取り組みをHPで積極的に情報発信を行うとともに、月1回の学校公開を行い、地域との信頼関係を深める。

（5）成果と課題

農業体験は、教えてくださる地域の方々と交流の場にもなり、充実した体験ができた。手で植え、刈り取り、結束し、はさ掛けするといった昔ながらのやり方を体験するとともに、機械での作業を見学することで、米づくりの苦労についての理解が深まった。縦割り班により下級生の児童にやり方を教え、作業を進めていくという経験は、上級生の自覚を高める機会になると同時に、自主性を高める結果にもなった。また、農業のすばらしさを理解するとともに、収穫物への感謝の気持ちを育てることができた。収穫した米を使ってカレーライスを作り、味わったことは、児童だけでなく保護者や地域住民にとっても、郷土の恵みを意識する楽しい経験になった。作る際には、兵庫まちづくり協議会の方々の支援があり、地域に一体感が生まれ、大変好評を得た。今後も、地域を愛する心豊かな子どもを育てるための体験学習という意識を持って、地域との連携を深めていきたい。

